

# 令和 8 年度防府市産業戦略本部 第 1 回会合 議事録等

## ■開催日時・場所

令和 8 年 7 月 3 1 日（金）午後 2 時から  
防府市文化センター

## ■次第

- 1 開 会
- 2 説明事項

第 6 次防府市総合計画における重点プロジェクト（産業基盤整備関連）の進捗について  
中東情勢、物価高騰への対応について

- 3 そ の 他
- 4 閉 会

## ■配布資料

|       | 資料名                                       |
|-------|-------------------------------------------|
| 資料①   | 防災都市ほうふ<br>市制施行 9 0 周年を盛り上げます！            |
| 資料②   | 第 6 次防府市総合計画における重点プロジェクト（産業基盤整備関連）の進捗について |
| 資料③   | 中東情勢、物価高騰への対応について                         |
| 参考資料① | 第 6 次防府市総合計画 輝き！ほうふプラン（概要版）               |
| 参考資料② | 防府市のレザーファン                                |
| 参考資料③ | 山口宇部空港大型広告の掲出について                         |

■出席者名簿

敬称略・順不同

| 種別   |     | 所属団体・役職               | 名前     | 出欠 |
|------|-----|-----------------------|--------|----|
| 本部長  |     | 防府市長                  | 池田 豊   | 出席 |
| 本部委員 |     | アボンコーポレーション株式会社 代表取締役 | 松村 憲吾  | 出席 |
|      |     | 大村印刷株式会社 取締役本社営業部長    | 村田 浩司  | 出席 |
|      |     | 協和発酵バイオ株式会社 企画管理部部長代理 | 山本 武司  | 出席 |
|      |     | 有限会社周防タクシー 代表取締役      | 新原 耕由  | 出席 |
|      |     | 株式会社杉本利兵衛本店 代表取締役社長   | 杉本 洋右  | 欠席 |
|      |     | 天神町銀座商店街振興組合 理事長      | 達川 政明  | 出席 |
|      |     | 東海カーボン株式会社 防府工場 総務課長  | 矢田 和也  | 出席 |
|      |     | 東山口信用金庫 本店長           | 後藤 福樹  | 出席 |
|      |     | フラワースペース Co-co 代表     | 森本 幸代  | 出席 |
|      |     | 株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長  | 桃井 敏行  | 出席 |
|      |     | 防府商工会議所 会頭            | 羽嶋 秀一  | 出席 |
|      |     | 防府流通センター協同組合 理事長      | 喜多村 誠  | 出席 |
|      |     | マツダ株式会社 防府工場 総務部長     | 田中 真二  | 出席 |
|      |     | 株式会社丸久 代表取締役社長        | 宇佐川 浩之 | 出席 |
|      |     | 光浦醸造工業株式会社 代表取締役      | 光浦 健太郎 | 欠席 |
| 事務局  | 本部員 | 産業振興部 部長              | 齊藤 忍   |    |
|      |     | 土木都市建設部 部長            | 藤本 英明  |    |
|      |     | 総合政策部 部長              | 宮本 松典  |    |
|      |     | 文化スポーツ観光交流部 部長        | 松村 慎吾  |    |
|      | 庶務  | 産業振興部 理事              | 石光 徹   |    |
|      |     | 産業振興部 部次長             | 小田 至郎  |    |
|      |     | 産業振興部 企業応援課 課長        | 秋里 幸   |    |
|      |     | 産業振興部 企業応援課 主幹        | 原田 俊和  |    |
|      |     | 産業振興部 企業応援課 課長補佐      | 中司 達朗  |    |
|      |     | 産業振興部 企業応援課 推進係長      | 藤崎 雄士  |    |

## 1 開 会

---

市長（本部長）挨拶

## 2 本部委員紹介

---

事務局から出席委員の紹介

## 3 資料について説明

---

本部長から、防災、市制施行 90 周年にかかる取組を説明。

事務局（土木都市建設部長、産業振興部長）から、産業基盤整備にかかる取組を説明。

事務局（産業振興部長）から、中東情勢、物価高騰への対応にかかる取組を説明。

## 4 各本部委員による意見

---

本部長

説明事項等にかかるご意見をお伺いする。

A 委員

中小企業振興資金融資制度について、4 月 20 日に「中東情勢悪化に係る緊急要望書」を市長に提出した。その後、専決処分で「関税・物価高騰対策緊急支援資金」を拡充し、資金繰り対策を講じていただいた。そして、さらなる支援策として、6 月議会で「小規模事業者中東情勢緊急支援金」を新設いただいた。この場を借りてお礼を申し上げる。

B 委員

中小企業事業者の皆様におかれては、中東情勢が不安定で、長期化するであろうということで不安を抱えておられる。

そのような中「関税・物価高騰対策緊急支援資金」を創設していただき、さらにこの 7 月には、「小規模事業者中東情勢緊急支援資金」を創設していただいたということで、この場を借りてお礼を申し上げたい。

現状を申すと、中小企業者の皆様におかれては、仕入れ等に支障をきたしている。仕入価格も、2 倍 3 倍になっていると聞く。併せて、納品にもかなりの時間がかかり、特に建設関係は、工期の長期化で、資金繰りに支障をきたすという声が増えている。

また、中小企業者もしくは零細事業者については、価格転嫁が難しいということで、資金繰りの相談も増えている。事業者におかれては、特別相談窓口を活用し、気軽にご相談いただきたい。中小企業振興資金融資制度など、今後も、防府市、商工会議所、金融機関等が連携し、事業者への対応を継続していければよい。

C 委員

花業界について、中東情勢の関係でいうと、例えば器だとか、ラッピングだとか、花に関する資材メーカーが昨年頃から廃業に追い込まれているという話を聞く。そこにしわ寄せが来ると、小売業者にも影響し、販売の部分で消費者に負担をかけるという悪循環で、どういった対応をすればよいのかわからない状況にある。

熊本地震について、熊本は大菊やトルコキキョウなどの生産が盛んで、お盆に向けて

需要が多くなるが、全国で出回る量に影響が出るため、花の金額が上がってくる。価格高騰に加え、花の入荷がないという状況のため、繁忙期を逃すという負のスパイラルにある状況。こういった中、プレミアム付商品券の発行や資金支援をいただけるのはとてもありがたい。

また全国的に、市場の手数料が上がってきており、無料だった部分に手数料がかかるよう変わってきている。価格転嫁での対応は難しいと考えているので対応策を模索中。

本部長

熊本は農業が盛んな県。畜産もそうだが、これからいろいろな影響があるのではないかなと思っている。今後の状況を注視したい。

こうした中で、相談体制を充実させておくことが重要だと思っている。商工会議所でコネクト22を運営されているが、日頃から誰でも相談できる体制を取っておくことが大事だと個人的には思っている。

A委員

中小企業サポートセンター「コネクト22」において、企業の皆さんを取り巻く賃上げや人手不足等の経営課題に対して専門家と連携しながら、総合的な相談対応を行っているところ。

そうした中で、「コネクト22」への相談件数は伸びているものの、同じ事業者が複数回相談する事例が多く、その利用は一部の事業者に限られていると考えている。より多くの企業の皆さんの経営課題解決に向けては、窓口のPRも含めて一層この「コネクト22」の総合的な相談機能の強化をしていくことが課題であると考えている。今後、検討を進める際には、防府市のご協力をお願いしたい。

本部長

商工会議所、防府市、金融機関が連携し、中小企業者に寄り添った相談体制を整えていけるとよい。

D委員

物流について、3月4月頃は、トラック輸送の軽油に供給不安があったが、今は国の支援もあり一旦落ち着いた。しかし、今後また軽油やガソリンの価格が高騰するのではないかとされており、国の補助もいつまで続くのかというところを心配している。

倉庫業では、徳山地区の石油化学由来の荷物について、出庫は多いが、入庫が少なく保管量が減るなどの影響が出てきている。

また、最低賃金について、10月から山口県もいくらになるのかというところだが、賃金が上がり、諸物価が上がってくる。しかし価格転嫁は進まない。B to Bでの企業対応はまだよいが、大変なのはB to Cの消費者対応。賃金や原材料が上がる中で、価格転嫁をしたいが、それによる影響が怖くてできないということ。そのまま価格転嫁できず経営がうまくいかなくなるという例を多く聞くので、今後の情勢を憂慮している。

本部長

野島海運もA重油がなくなって軽油に切り換えるなどの対応をした。

最低賃金や価格転嫁など中小企業の経営を圧迫する要因にもなり得るが、市レベルでは対応できないので、国の対応を期待したい。

何ができるかという前に、まずは現場の生の声をしっかり聞いていきたい。その声を要望に活かしたい。防府市は金融機関・商工会議所等と情報連携が取れているので、それを活かして他市に負けない取組を進めていきたい。市としてできることはしっかりやっていきたい。

E 委員

重点プロジェクトについて、国道2号の拡幅を始めとした様々な道路整備や、大道の産業団地整備など、産業基盤整備が進むのを楽しみにしている。そして次に期待しているのが、やはり港湾の整備。弊社の工場は中関港のすぐそばにあるが、製品はほとんど陸送で出荷している状況。これだけ海が近いところで海を活用しない手はないと考えている。先日の熊本地震など災害時を考えると、いろいろな交通ルートを整備していく必要があると思う。資料にいろいろな記載があるが、改めて中関3号岸壁の延伸に向けた直近の具体的な取組状況などをお聞かせいただきたい。

本部長

3号岸壁延伸については、市長就任直後から期待の声を聞いている。  
商工会議所では3号岸壁延伸に向けた協議会を設立されている。

A 委員

3月18日に国交省、山口県、防府市、三田尻中関港の利用企業で意見交換会を開催し、3号岸壁延伸の必要性を説明し、整備促進を強く要望した。

また、6月3日、4日には、港湾先進地である鳥取県境港市へ三田尻中関港利用促進協議会として、市長をはじめ、三田尻中関港コンテナターミナル運営委員会、防府みなと振興会、商工会議所で視察に伺った。

6月28日には、高村正大衆議院議員が潮彩エリアと三田尻中関港の視察に来られた。県・市・商工会議所・みなと振興会で対応し、宇部港湾・空港整備事務所長にもお越しいただき現状の説明を行っていただいたところ。

裸坊祭の前日11月27日には、大型クルーズ船「飛鳥Ⅲ」が寄港する。

3号岸壁延伸早期実現に向けての要望に加え、利用促進に向けたポートセールスについても官民一体となって実施するため、今後ともご支援、ご協力をお願いする。

本部長

岸壁の水深は2号が7.5m、3号が12mとなっている。安定的に港湾を利用するには、水深7.5mでは寄港できなくなる可能性があるので、それまでに3号岸壁を延伸することが必要不可欠だと思っている。また今まで利用していない企業にも、CO2削減の観点からもぜひ使っていただきたい。3号岸壁が延伸すれば、コンテナ船とクルーズ船が同時に寄港できる。実際クルーズ船寄港の話は多くあるが、現状寄港しにくい状況がある。クルーズ船が多く寄港し、防府天満宮や毛利邸に訪れてほしい。

地元の企業の方、県と一緒に国に働きかけていきたい。産業団地の整備も進めているが、それにも活かされと思っている。

F 委員

潮彩エリア活性化プロジェクトについて、農業や水産業に従事の方が少ない、また担い手不足という問題がある中、潮彩エリアを活性化していくことは必要だと考える。

青果市場の移転も含めて「海と大地のとれたてが集う」一次産業の拠点となり、防府市内外の方々を呼び込めるものにしていただきたい。朝市などの取組も行うということだが、潮彩エリア活性化プロジェクトの今後の計画についてお聞きたい。

本部長

青果市場の朝市に先日行ったが、多くの方が来ており、ニーズがあるのかなと思っている。

潮彩エリアについては、メバル公園もあり多くの方に来ていただいている。隣には、県漁協の新しい水産市場もできている。北側の方は、県が緑地公園を作っていて今年度に完成する。10年前とは見違えるほどきれいになる。

そうした中で、国道2号の富海拡幅が開通し、周南方面からも来やすくなった。そして今度は、農道牟礼小野線が開通すると、小野の方からも非常に来やすくなる。オープニングイベントの際に看板をお披露目するが、潮彩が近くなりましたということを示す予定。農林業の知と技の拠点とも連携しながら「海と大地のとれたてが集う」一次産業の拠点を作っていきたい。

この件については、産業戦略本部委員の皆さんからいただいた様々な意見も参考にした。青果市場跡地の問題もあるが、防府市の産業振興に資するような形になるよう検討したい。この拠点を整備し、遠くから多くの方に来ていただきたい。

D委員

三田尻港周辺は、ウォーターフロントのにぎわい創出が非常に広域で具体的にかなり素晴らしいと思っている。一方で中関港だが、ここは物流の港なので、3号岸壁の延伸も含め取扱量を増やすことが大事なのだろうと思う。

臨海部の企業にもっと中関港を使ってもらえるとよい。今は海上コンテナをトレーラーで陸上輸送するドレージで門司港を利用する企業が多いのではないかと。門司から防府は距離があるため、トラック輸送はCO2削減の観点、モーダルシフトの観点からもよくない。もし中関港を利用できれば非常に効率がよくなる。

ただ一方で、船をバスに例えれば、港はバス停。一定の利用者がいなければ、バスは寄らない。そういう意味では、中関港を利用する企業の数や物量が安定・定期的にないと寄港しないということ。過去に取扱量が少なかったため抜港された例もある。卵が先か鶏が先かの議論になるが、企業の方々のご理解ご協力もいると思う。防府工場だけの判断は難しいと考えるが、企業には1度ご検討いただけるとよいと思う。

本部長

海上輸送のほうが地震には強いと思う。防府の発展のために安定的な港湾利用ができるようになればよい。実際、国内全体の対米輸出額に占める三田尻中関港の割合は約2%ある。取扱量が増えれば、抜港のリスクもなくなり安定的になると思う。市と民間と県と一緒に頑張って取り組んでいきたい。

G委員

話は戻るが、中小企業振興資金融資制度は、中小企業としては大変ありがたい制度だと思う。この場を借りてお礼を申し上げる。

話は変わるが、ぶらざFMにて、この秋から防府市の道路交通情報をラジオで流そう

と計画している。ニュースソースは、日本道路交通情報センターの情報。いろいろなかたちで、市にもご協力ご相談をさせていただくことがあると思うので、よろしくお願いします。

H委員

山口宇部空港の大型広告の掲出について、こちらの大型広告の場所は出発ロビーかと思う。目的が認知であればここでもよいと思うが、実際に防府に来ていただくことを狙うなら、到着ロビーでの掲出のほうが、効果があるように思う。このあたりの狙いを聞きたい。

本部長

仰るとおりで、新山口駅は下りエスカレーターの壁面に、山口に訪れた方が見える場所に掲出している。空港の出発ロビーは、利用者の気持ちが東京にいつているので、あまり見られないのではないかという認識はしている。

そうした中で、これはナナシマチの取組となっており費用対効果がよい取組だと思っている。これだけ大きく掲出できると、山口県民が防府はすごいことをやっているなと思っていただける。現在、1階に4施設の観光ポスターも掲示しているが、そちらと合わせて見ていただければ、防府は観光事業に熱心に取り組んでいると感じてもらえるのではないと思う。場所としては、到着ロビーが1番よいと思うが、費用対効果ということでご理解いただきたい。

I委員

食害魚アイゴの件だが、昨年の取組を今年も継続している。昨年より多くフライを食堂で提供したが、全て完売した。こういったCO2削減の取組を通じてその意義を従業員に伝えていきたい。今後もずっと継続していくことが大事かと思う。

本部長

市としても2050年の森プロジェクトを大平山で実施している。企業とも一緒になってこういった取組を行っていきたい。

J委員

野島と富海で海藻を増やそうという取組を漁協と一緒にやって行っている。アイゴやイスズミという魚が、海藻を食べ散らかして海藻が減るという問題がある。防府においては、またアイゴが増えてきているが、漁協と一緒に海藻を増やしているところについては、まだ被害は起きていない。

逆に、海藻は増えていて、海藻のまわりにメバルや稚魚などが集まっている。小さいうちに海藻の陰に隠れることができると食べられる恐れが減る。野島や富海では今すぐメバルが確認されている。

防災とか人のためだけのインフラ整備ではなく、自然環境や生物にも配慮したインフラの整備をしていくという取組を近年、国が推進している。今回の野島と富海でやっている海藻が増えた技術は、グリーンインフラ技術として推奨されている。防府市のグリーンインフラにかかる取組や考えをお聞きしたい。

本部長

おかげさまで海の取組も進めており、各部局でもいろいろな取組を行っている。先駆

的な事例など専門家の意見も聞きながら、取組を進めていきたいので、引き続きご意見をいただきたい。

**K委員**

防府環状線西浦交差点改良事業について、市と県で、スピード感を持って対応いただき感謝申し上げます。地元への説明という話も出たので、ぜひ最近の状況、今後のスケジュールなどを引き続きご協議いただけるとありがたい。

3号岸壁の延伸について、西浦工場で生産した年間約30万台の完成車のうち、輸出が8割ぐらい。多くの完成車を北米、欧州向けに輸出している。輸出船のスケジュール調整などにも良い影響を及ぼすと思うので、より良い港になることを期待したい。また、完成車以外の部品関係についても港湾利用ができるか検討したい。

観光について、防府市が2年連続で、観光客数過去最高を更新ということで271万人という数字が出ていた。1番多いのが防府天満宮。271万人のうち、約半数の136万人の集客。その次がメバル公園一帯。79万人ということで約30%。防府天満宮とメバル公園一体で、約80%の集客となっている。この2つの観光地をうまく繋いで他の観光地も集客が増えるといい。また、宿泊客数は271万人の観光客に対して、6万8千人。このあたりの数値も意識したにぎわい創出策も考えていけるとよい。

**本部長**

防府環状線西浦交差点改良事業については、県と市が一緒になって上手く進めている。県知事にもしっかり要望を行った。早く事業が進むことが1番だと思う。

観光については、統計の取り方はいろいろあるが、防府はやはり滞在型ではない観光が多い。瑞風やクルーズ船で宿泊の弱みを補いたい。そのためにも港の整備は必要。そういった方に来訪していただきたい。毛利氏庭園の良さもしっかりPRしたい。今年は300万人の観光客数を達成したい。

**L委員**

融資制度などを設けていただいたが、特にプレミアム付商品券発行事業は確かな効果を感じ、ありがたい事業だと思っている。

最近の気かりは、仕入れ価格の上昇。2ヶ月3ヶ月に1回、仕入れ業者から仕入れ価格が上がるといった話を受ける。価格転嫁に踏み切れず、相談相手もない中、よくない経営をしてしまうという話も聞く。引き続き、商工会議所や金融機関において、事例やケーススタディをあらゆる中小企業等に周知共有いただけるとありがたい。

**本部長**

価格転嫁や物価上昇など様々な問題がある。やはり相談体制を充実させることが1番かと思う。「コネクト22」や商工会議所、市にもぜひ声を寄せてほしいし、こちらとしては相談に来やすくなる運営をしないといけないと思ったところ。

**M委員**

まず国道や農道の整備を行っていただき感謝申し上げます。

話は変わるが、「防災都市ほうふ」の取組に避難所となる小・中学校体育館のエアコン整備とある。これはすごく良い取組だと思う。

熊本地震で、電気が止まっている話があるが、電気が止まるとエアコンがあるのに使

えないという状況に陥る。そのため、小さい発電施設のようなものも必要になるのではないかと考える。3 m四方の高さ5 mぐらいの施設で、ガスで発電できる仕組みがあるという話を聞いたので参考まで。

本部長

避難所については、プロパンガスで対応したいと思っている。

10年前の熊本地震の際に熊本の方などからいろいろな話を聞いた。国の財源も意識しながら、早く対応しないといけないということで、去年の9月議会で設計の予算を出させていただいた。地震は何となく冬のイメージがあるが、このたびの熊本地震のように夏に起きた場合の対応としてエアコンは必須。今秋には72時間の市民総合防災訓練を行う。

C委員

表参道にぎわいプロジェクトの中に、「中心市街地活性化リノベーション資金」という制度が紹介されている。市内の方は、ご存じかもしれないが、移住したいという方にこういう提案がされているのか疑問に思った。

移住したい方は、観光面ではなくて、生活インフラが整っているかとか、働く場所があるかとか、そういった生活に密着した情報が聞きたいと伺う。防府天満宮の近くでお店が出せるというような情報から移住してみたいと思う方がいるかもしれない。こういう情報を、移住に絡めて紹介されてはいかがと思った。

本部長

防府は車がなくても住めるということを東京でPRしている。コンパクトなまちで、マンションから買い物や病院まで歩いて行けると紹介している。東京23区の方は車を持っていない方が多いのでその情報は伝える。東京の有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」によく伺うが、そこで私自らが誘致した方もいる。キャッチコピーは、「田舎以上都会未満」としている。また、転入超過3年連続ナンバーワンというパンフレットでPRし、「ふるさと回帰支援センター」の担当者にも共有を図っている。

一方で、委員が仰るように十分に周知ができているのかという課題もあると思う。相談者は若い人から年配の方までいると聞く。先日も職員が東京での移住イベントに参加した。今「ほうふファン」という取組を考えており、防府を応援してもらえるような人を多く作っていききたい。

A委員

裸坊祭1万人プロジェクトはぜひご協力をお願いしたい。

また、裸坊祭100日前イベントということで、8月20日に防府駅周辺で開催する。その時に、表参道の愛称を発表したいと考えている。幸せますフェスタのイベント等も一翼を担っていると考えるが、天満宮から防府駅周辺までをにぎわいが溢れるまちにしていきたい。

本部長

歴史のまちタペストリー設置事業で連携したい。8月20日を楽しみにしている。表参道がずっと元気になるようにしていきたい。今年度、天神山公園に、天満宮にふさわしい公衆トイレを整備することとしている。それも期待していただきたい。

本日も様々なご意見をいただき感謝申し上げます。いろいろと参考にしたい。市としてできることはしっかり行っていきたい。また８月２３日は、市制施行９０周年記念式典があるので、ぜひお越しいただきたい。

閉会